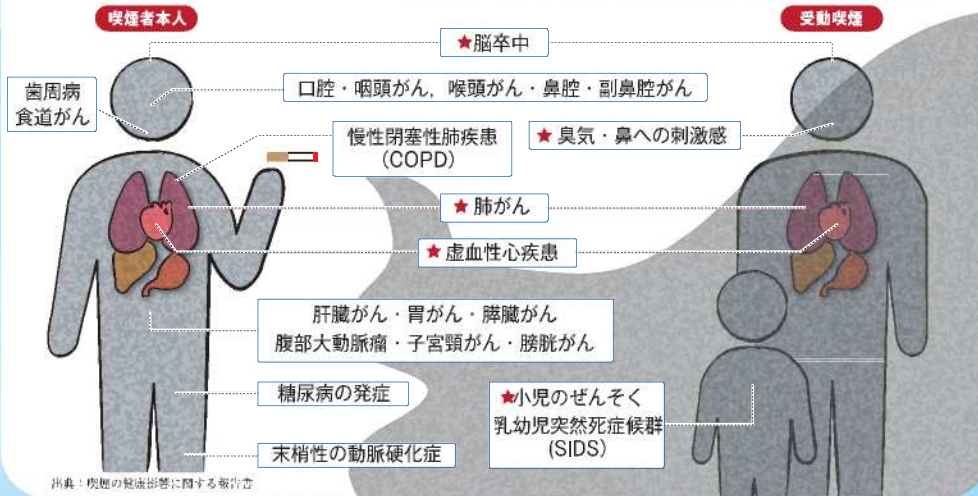


たばこの全身への影響

★の印がついているものは、受動喫煙による健康影響が確認されています。



出典：喫煙の健康影響に関する報告書

● 受動喫煙を受けている人は、病気になるリスクが高くなります

肺がん
1.3倍

虚血性心疾患
1.2倍

脳卒中
1.3倍

乳幼児突然死症候群 (SIDS)
4.7倍

(受動喫煙を受けていない人を1とした場合)

● 少なくとも年間1万5千人（交通事故の約4倍）が受動喫煙を受けなければ、がん等※で死亡せずにすんだと推計されています。

※肺がん、虚血性心疾患、脳卒中、乳幼児突然死症候群 (SIDS)

(平成28年度国立がん研究センター発表)

- 飲食店は非喫煙者、妊婦、子ども、がん患者等も利用する「公共の場」
- 「喫煙店」や「喫煙席」で働く従業員やパート、アルバイトの人々も、常にたばこの煙にさらされている。
- 喫煙者の上司から「喫煙店」や「喫煙席」に誘われたら、非喫煙者の部下は断りにくい。
(スモークハラスメント)



➡ **受動喫煙防止対策が必要！！**

受動喫煙^{※1}を防止しましょう

STOP! PASSIVE SMOKING

たばこの煙の有害物質^{※2}は、
たばこを吸う人が吸いこむ煙ではなく、
周りに流れる煙に、より多く含まれています。

受動喫煙の害を防ぐため、
屋内禁煙の御協力をお願いします。

※1 受動喫煙：自分の意思とは関係なく、他人のたばこの煙を吸わされること

※2 本人が吸いこむ煙を1とした場合、周りに流れる煙の有害物質
一酸化炭素4.7倍 ニコチン2.8倍 タール3.4倍 アンモニア46倍 カドミウム3.6倍



子どもは自分で
たばこの煙を避ける
ことができないため、
とりわけ配慮が
必要です。



受動喫煙防止対策や店舗の禁煙化にあたり、次のような心配をされていませんか？



Q

売上やお客さんが減るのではないのでしょうか。

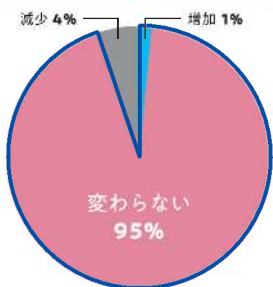
国内外の研究で売上げの多くは変わらないという調査結果があります。

A



参考資料：厚生労働省受動喫煙防止対策の強化について（基本的な考え方の案）
受動喫煙防止対策強化の必要性他

禁煙化後の売上げの変化



愛知県「受動喫煙防止対策実施施設等状況確認調査」
(平成22年2月)

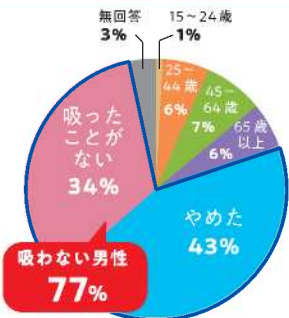


大和浩征が「某ファミリーレストラングループにおける客席禁煙化前後の営業収入の相対変化」(日本公衆衛生雑誌2014)より一部改編

A



多くの市民がたばこを吸いません。
禁煙にすることで、将来的に今まで利用がなかった非喫煙者の利用が増える可能性があります。



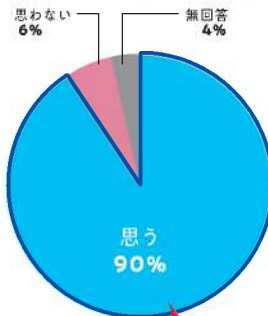
データ出典：平成29年度京都市健康づくりに関する意識調査



Q

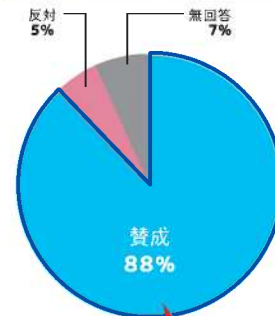
お客さんの理解が得られないのではないかと心配です。

受動喫煙が健康に悪影響であると思うか



喫煙者も約8割が受動喫煙の悪影響を認識しています。

公共的な空間で受動喫煙防止対策が進められていることについて



喫煙者も約7割が賛成しています。

A



ほとんどの市民が受動喫煙が健康に悪影響を及ぼすと考えています。
また、多くの市民が受動喫煙防止対策が進むことに賛成しています。

A



さらに、飲食店の受動喫煙防止対策が十分ではないと考えている市民の割合が高くなっています。



Q

加熱式たばこであれば屋内で自由に吸ってよいのですか。

現段階において、健康被害がないということが明確になっていないため、喫煙者と受動喫煙者の健康に悪影響を及ぼす可能性があります。よって、公共的な場所では加熱式たばこも喫煙を御遠慮ください。



A

